

ボーッとしたり物忘れがひどくなったりして「認知症かな」と不安になる人は多いだろう。アルツハイマー病がよく知られるが、実は認知症の約2割は「レビー小体型」とみられる。発症の10年以上も前から、睡眠時の異常行動などの形で前兆が現れる場合もあるとわかってきた。症状は時間の経過とともに変わるため、患者の状態に適した薬の服用や治療が必要だ。

最初は鬱の診断

北関東に住む女性Aさん(78、当時)が関東中央病院(東京・世田谷)の神経内科を受診したのは2年ほど前だ。足取りがおぼつかなく、幻覚がひどかった。Aさんは別の病院の精神科でうつ病の薬を2種類処方されていたが症状は悪化したため、娘が「おかしい」と感じて病院を変えた。

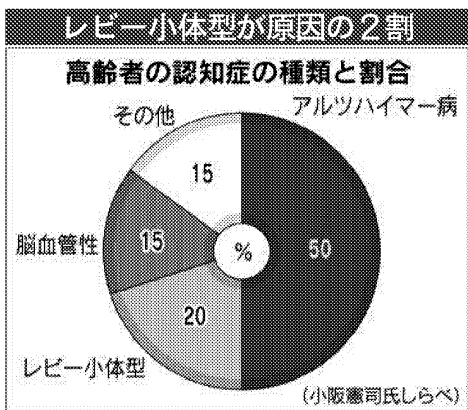
前兆に注意

認知症

織茂智之神経内科部長は問診で、レビー小体型認知症を疑った。「小さな子供が遊んでいる」などと言う幻覚があったからだ。認知機能はそれほど低くなく、手足の震えなどパーキンソン病のような症状は軽度だった。

そこで、うつ病の薬の一つをやめ、もう一つも量を8分の1に減らした。代わりに認知症の薬を投与すると、Aさんの症状は改善し、はきはきと会話できるようになった。

レビー小体型

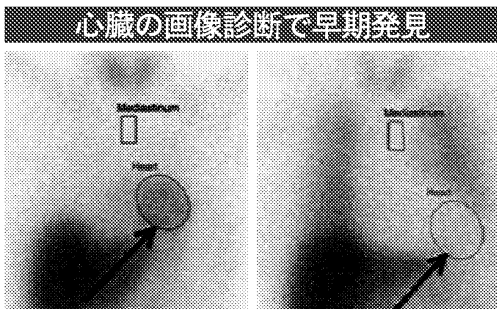


レビー小体型は特定のたんぱく質を主な成分とするレビー小体が、大脳皮質や脳幹などの中枢神経のほか、全身の交感神経に多数現れる。「ごほんの上を虫が動き回っている」といった幻視や、「男が隣の部屋からこちらをうかがい、妻を誘っている」などの妄想が現れる。パーキンソン症状や認知障害のほか、寝ている時に怖い夢を見たり大声を出したり寝ぼけて起き出したりするレム睡眠行動障害、便秘などになる患者もいる。抗うつ剤などに過敏に反応する傾向があり、ふらついて転倒や骨折の恐れも高まる。

織茂部長は、抗うつ剤を減ら

幻覚や睡眠時の行動障害

MIBG心筋シンチグラフィの画像。アルツハイマー病^⑤では心臓が黒く映るが、レビー小体型認知症では映らない(織茂智之氏提供)



心臓の画像診断で早期発見

し認知症薬のドネペジル塩酸塩(商品名アリセプト)などを適量投与して症状改善を目指している。患者が物事をより考えるようになつて脳神経を使えば、神経細胞間の情報のやりとりが増え症状がさらによくなる好循環が期待できる。

薬が保険適用に

レビー小体は消せなくても病気の進行を食い止められる可能性がある。ドネペジルは今年9月、アルツハイマー病に加えてレビー小体型の薬としても承認され保険適用になった。「診断をきちんとすれば治療法はあるのに、レビー小体型を知らない医師も多い」と織茂部長は嘆く。

レビー小体型を1976年、

世界で最初に報告したのは小阪憲司・横浜市立大学名誉教授だ。今も首都圏のクリニックで約250人の外来患者を診ており、約6割がレビー小体型という。

厚生労働省研究班による高齢者の認知症調査では、面接調査で診断が確定した患者のうち、

レビー小体型とパーキンソン症状を伴う認知症の合計は約4%だった。小阪名誉教授は「専門医が正しく診断できていないためにこれほど少ない」と指摘する。同名名誉教授は解剖の結果から、日本の高齢者の認知症の約

半分はアルツハイマー病、2割がレビー小体型、15%が脳血管性だとみる。

レビー小体型にはアルツハイマー病の病変を伴う通常型と、伴わない純粋型がある。通常型の発症は70歳前後、純粋型は30〜40代で多い。純粋型は認知障害があまり現れず、余計に診断が難しい。

最近では心臓で働く交感神経の働きを調べる「MIBG心筋シンチグラフィ」と呼ぶ画像診断が使われる。レビー小体型になると心臓の交感神経にも変化が起き、患者に診断薬を投与して撮影しても心臓が映らなくなることを利用する。

かなり早い段階から、徐々に病気の兆しが出る場合もある。蒲田内科クリニック(東京・大田)の園田康博副院長は「発症の十数年前からレム睡眠行動障害が出るケースをたくさん見てきた」という。悪夢やうなされることが増えたり、程度がひどくなったりしていないかが重要なポイントだ。

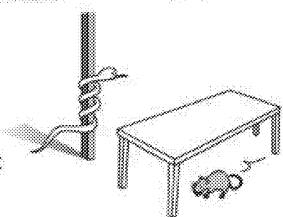
「悪夢で目覚めるだけでなく起き上がって隣の人に暴力を振るうなど行動を起こす」「自分の大声で起きる」などの場合は要注意だ。昼間でも眠くボーッとして新聞を読んでも頭に入らず、そつかと思つと、しばらく後には内容をはっきり理解できるといった波があるのも特徴だ。

レム睡眠行動障害が開始した時に適切に治療すれば、それ以外の症状が現れる時期を遅らせられる可能性がある。園田副院長は「強い睡眠導入剤などは逆効果だ」として、比較的緩やかに効く漢方薬の抑肝散をよく処方する。

自分や家族にこうした睡眠障害や幻視などがある場合は、専門知識のある神経内科医に診てもらつとよい。「レビー小体型認知症家族を支える会」のホームページにある小阪名誉教授が推奨する医師のリストなどが参考になる。(編集委員 安藤淳)

レビー小体型認知症チェックリスト

- ☐ 物忘れがある
- ☐ 頭がはつきりしている時と、そうでない時の差が激しい
- ☐ 実際にはないものが見える
- ☐ 妄想がみられる
- ☐ うつめである
- ☐ 動作が緩慢になった
- ☐ 筋肉がこわばる
- ☐ 小股で歩く
- ☐ 睡眠時に異常な言動をする
- ☐ 転倒や失神を繰り返す



5個以上該当すれば
レビー小体型認知症
の可能性あり

(注)簡易なチェック法であり、実際の診断はより詳細な基準に基づく。小阪憲司氏の資料による